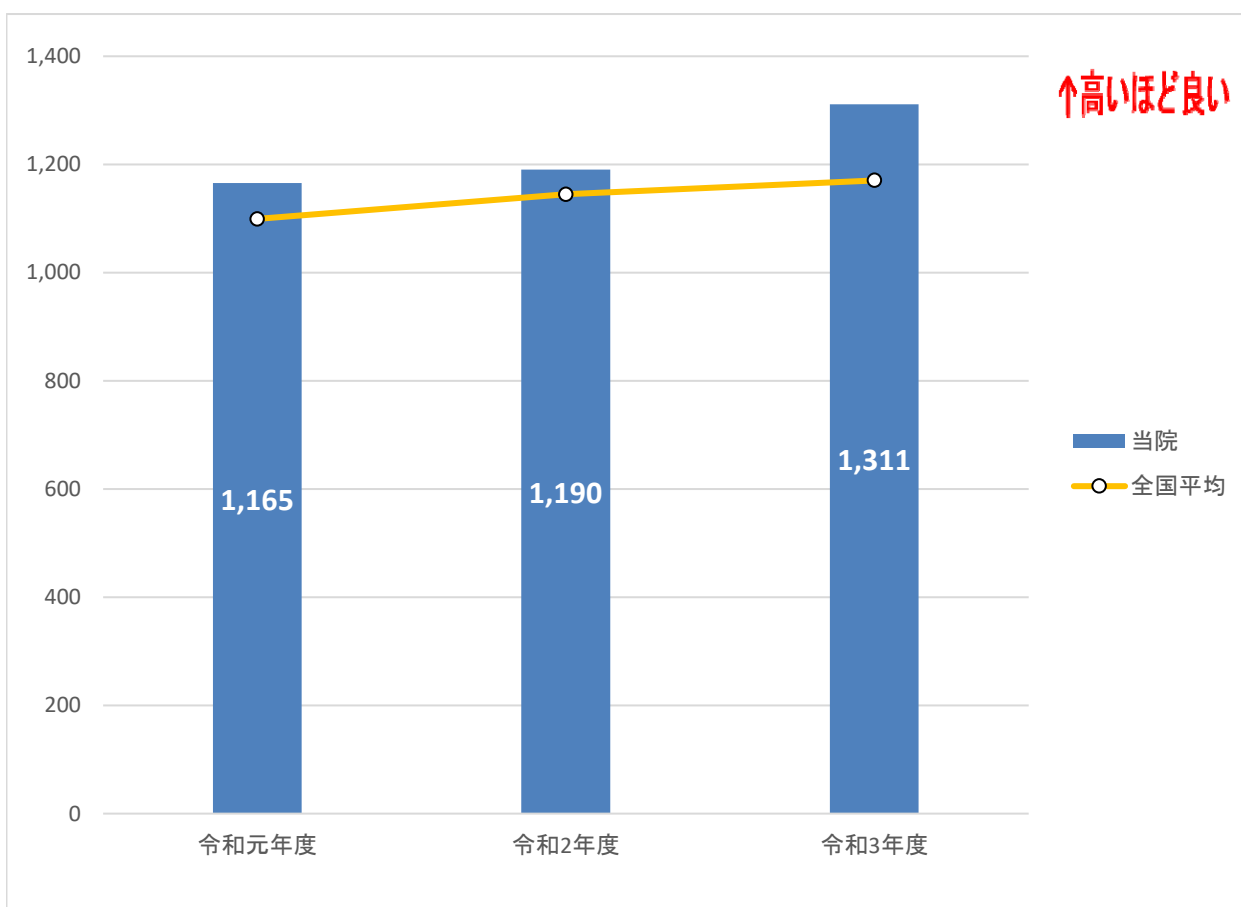


外来でがん化学療法を行った延べ患者数100床あたり

解説

近年、化学療法の多くが外来で行えるようになり、日常生活を送りながら治療を受けられるようになりました。患者の生活の質向上につながる一方、外来で適切に化学療法を行うためには、担当の医師、看護師、薬剤師などの配置が必要になります。外来化学療法を行えるだけの職員、設備の充実度を表現する指標です。

当院では、令和2年8月に専用病床を15床から24床に増床しました。また、脱毛を予防する頭皮冷却システムを県内で初めて導入し、患者さんの生活の質向上を図っています。



(単位:件)	当院	全国平均
令和元年度	1,165	1,099
令和2年度	1,190	1,145
令和3年度	1,311	1,171

項目定義

医科診療報酬点数表における、「第6部注射通則6 外来化学療法加算」の算定件数です。